

相模原市(神奈川県)の一体的実施 平成24年4月2日事業開始

相模原市内3拠点(緑区、中央区、南区)において、市とハローワークが協働し、地域住民に対する生活支援(福祉支援)も含めた総合的就労支援サービスを一体的に実施

相模原市

キャリア・カウンセリング
及び職業紹介



国

職業紹介・職業相談の実施等

①事業内容

- ・生活保護受給者、住宅支援給付受給者、母子家庭の母等の生活困窮者に対する支援
- ・若者に対する支援(就職面接会、就職支援セミナー、企業と高等学校の情報交換会の開催)

②協定・事業計画

- ・相模原市と神奈川労働局が協定(*)を締結
 - ・数値目標を盛り込んだ事業計画を相模原市と神奈川労働局で策定
- * 協定の実施等について相互に要望することができ、出された要望には誠実に対応する旨を規定

③運営協議会

- ・相模原市及び、神奈川労働局の関係組織で構成する運営協議会を設置(相模原市環境経済局経済部雇用政策課長が会長)

相模原市内各区に拠点を設置し、市とハローワークの施策を結集した、ワンストップサービスによる就労支援を実現

(1) 各拠点事業内容・体制

相模原市総合就職支援センター(緑区)

【体制】

相模原市: キャリアカウンセラー6名
 国: 相談員4名・求人情報提供端末
 10台・紹介端末4台

【一体的事業】

HW相談員による職業相談・紹介

ハローワーク相模原(中央区)

【体制】

相模原市: キャリアカウンセラー1名

【一体的事業】

市のキャリアカウンセラーによる相
 談支援

キャリアアップハローワーク(南区)

【体制】

相模原市: キャリアカウンセラー1名

【一体的事業】

市のキャリアカウンセラーによる相
 談支援

相模原市総合就職支援センターを平成25年6月に開設、8月から求人情報検索機10台を設置。相談員2名を追加配置。

(2) 事業目標と取組状況

	事業目標		取組状況
	母子家庭の母等支援	児童扶養手当受給者の 就職率	平成25年度 33% 平成24年度 30%
生活困窮者対策	生活保護受給者の就職率	平成25年度 47% 平成24年度 42%	44.8%(10月末現在) 41.2%
若年者就労支援	若年者の就職率	平成25年度 30%	65.0%(10月末現在)
	情報交換会参加高校の 内定者数	平成24年度 15人	—
	若年者就職面接会での 就職者数	平成25年度 20人 平成24年度 20人	10月末現在 未実施 7人

一体的実施事業による就職成功例

男性：10代
希望職種：建設業務等
現況：児童相談所措置中で住居なし
支援期間：約3ヶ月

① 抱える課題

- ・児童相談所措置中であり、安定した住居がない。
- ・身元保証人がほぼいない状態。
- ・年齢から応募求人が少ない。

② 支援内容・ポイント・経過

- ・若年層の中でも住居に課題がある方への対応が可能な企業を就職支援センターにおいて開拓。
- ・支援対象者が希望する建設業務は、有料職業紹介事業の取扱職業の範囲外のため、就職支援センターでの求人受理ができないため、ハローワークと連携し求人説明会を実施、求人の条件緩和等の交渉を行った。
- ・面接に就職支援センター相談員が同行し、住居における課題を面接の場で整理した。

③ 結果

- ハローワークの紹介で、足場組立会社にアルバイト採用
- ・本児を含めた関係機関との話し合いの結果、最初はアルバイトで2週間就労し、その後契約社員へ移行予定。

男性：50代
希望職種：出版関係
前歴：出版関係（H19年以降就業経験なし）
現況：生活保護受給中（無料定額宿泊所入所中）
支援期間：約2ヶ月

① 抱える課題

- ・出版会社で携わっていた編集の仕事にこだわりが強く、他の仕事への自信もない。
- ・ホームレスで各地を転々とし、未就労期間（ブランク）が長い（約5年）。
- ・求人を提案してもなかなか応募への決心がつかない。

② 支援内容・ポイント・経過

- ・キャリアカウンセラーにより、就職活動に当たって、何が課題になっているかを整理し、求人の探し方、応募書類等の作成方法についてアドバイス。
- ・職種については、年齢や過去の就労経験、勤務地の希望などを聴取し、キャリアカウンセラーとハローワーク相談員が連携して求人を選定、マッチング。
- ・紹介状交付とともに面接指導

③ 結果

- ハローワークの紹介で、運送会社の倉庫内作業員（ピッキング）としてパート採用
- ・勤務地：自宅近く